



三沢小だより

三沢小学校校歌
 仰げ聳ゆる 大霧の
 父の雄姿ぞ 我が希望
 安けく強く 正しかれ
 峰の叫ぶや 空高く

学校教育目標
 『かしこく なかよく たくましく』
 目指す学校像
 『明るく、活気に満ちた、笑顔あふれる学校』

令和2年1月8日 9号 皆野町立三沢小学校
 児童数 39名
 TEL 0494-65-0123
 FAX 0494-64-0339



校長 設楽昌宏

新年 明けましておめでとうございます。

昨年は本校教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も、教職員一同力を合わせて、子ども達の健やかな成長と地域と共に歩む教育活動を推進して参ります。

今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

いよいよ3学期の始まりです。3学期は1学期・2学期にくらべて一番短く1年のしめくりであると同時に、次の学年への準備期間です。新年を迎え、新しい目標に向かって子どもたちが意欲的になっている今学期を次年度のスタートの0学期と捉え、意欲的に学習や生活にチャレンジして前向きに捉えていきたいと考えます。少し自分の意識を変えるだけで学校生活への意欲は高くなります。目標実現に向けての努力は美しく、人の感動を誘います。しかし、その努力も思いつきや気まぐれでは成果を期待できません。

ぜひ、この0学期を高学年・中学年・低学年の皆さん一人一人が1歩前に出て新しいステージの準備の期間ととらえてスタートをきれればと考えます。子どもたちが新しいことにチャレンジし、互いに学び合い育ち合える環境のもとで、一人一人が力を蓄え「学ぶことが楽しい」と実感できる教育活動を進めていきたいと考えております。

子どもたちは一年の始まりにどの様な目標を抱き、決意新たに計画を立てたのでしょうか。今年も自分の志や目標に向かって努力することを願っています。

どの学年の子供たちにとっても次の学年への大切な時間であることを伝え、「あたりまえのことをしっかりしていく」、そして、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していけるよう支援してまいります。特に6年生にとっては、卒業・進学という人生の節目を迎えようとしています。

子供たち一人一人が自分の目標をもって学校生活を送ることができるよう全職員で取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくようお願い申し上げます。



こねずみ大作戦!



ムネカー



の主な行事予定

8日(水) 始業式 一斉下校11:00	20日(月) さわやか7
9日(木) 給食開始 田島先生書初め指導 競書会 発育測定	21日(火) 放子教室
10日(金) 安全点検	22日(水) 職集 朝読書 クラブ
13日(月) 成人の日	23日(木) 児童集会(健康委員会)
14日(火) 田島先生書初め指導 放子教室	25.26日 児童生徒美術展(取方体育館)
15日(水) 職集 読み聞かせ 委員会	27日(月) 職員会議
16日(木) 児童集会(放送委員会)	28日(火) 放子教室
17日(金) 避難訓練	29日(水) 職集 読み聞かせ クラブ
18.19日 秩父地区書初め展(皆野小)	30日(木) 入学説明会

※放子教室=放課後子ども教室



☆ 校内書きぞめ展

- ◎ 日時 令和2年1月27日(月)~31日(金) 8:30~16:30
- ◎ 会場 各学級の廊下
- ※ 1年生から6年生までの全児童の作品が展示されます。是非ご都合をつけてご覧いただき、お子さんのがんばりを褒めてあげてください。なお、来校の際には、玄関受付にて記名をお願いします。
- ※ 秩父地区展に出品した作品は玄関の掲示板に展示いたします。



☆ 薬物乱用防止教室

1月14日(火)5校時(13:30~14:15)に5、6年生対象に薬物乱用防止教室を実施します。保護者の皆様や地域の皆様もご参観いただけます。どうぞおいでください

[インフルエンザにかからないために]

★ 外出後の手洗い

流水・石けんによる手洗いは、手指など体に付いたインフルエンザウイルスを物理的に除くために有効な方法です。アルコールによる消毒も効果的です。

★ 適度な湿度の保持

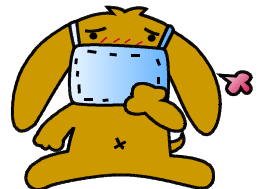
空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では加湿器等を使って適切な湿度を保つことが効果的です。

★ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

★ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行している時期は、疲労気味・睡眠不足の人は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。



子年(ねどし)

十二支(えと)は中国の殷(いん)の時代から十干(じっかん)と組み合わせられて日付を記録するのに利用されている。その後戦国時代より、年・月・時刻・方位を表すためにも利用されるようになった

子年は西暦年を12で割って4余る年となり、通常はうるう年となる。子は時刻では24時を中心に2時間を表し、方位では北を表す。

「漢書」律曆志によると「子」は「孳」(し:「ふえる」の意味)で、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているとされる。

後に、覚え易くするために動物の鼠が割り当てられた。